

令和4年度 特別展

創業200周年記念 フィンレイソン展

～フィンランドの暮らしに愛され続けたテキスタイル～

記者発表資料

四日市市立博物館

当館では4月16日(土)から6月5日(日)まで 特別展「創業200周年記念 フィンレイソン展 ～フィンランドの暮らしに愛され続けたテキスタイル～」を開催いたします。北欧フィンランド最古のテキスタイルブランド「フィンレイソン」。創業200周年を迎えたことを記念して、人々の暮らしを彩ったテキスタイルブランドの歴史とデザインを紹介します。

1. 展覧会 概要

- ◆会 期 令和4年4月16日(土)～6月5日(日)
休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日、ただし5月2日(月)は開館)
午前9時30分から午後5時 入場は午後4時30分まで
- ◆会 場 そらんぼ四日市(四日市市立博物館)4階 特別展示室
〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号
Tel059-355-2700
- ◆入 館 料 一般:1,000円、高・大学生500円、中学生以下無料
- ◆主 催 四日市市立博物館
- ◆後 援 フィンランド大使館、中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、
伊勢新聞社、三重テレビ放送、(株)シー・ティー・ワイ CTY-FM、三重エフエム放送
- ◆助 成 公益財団法人 岡田文化財団
- ◆特別協力 フィンレイソン社
- ◆協 力 タンペレ歴史博物館・フォルツサ博物館、アンドフィーカ
- ◆企画協力 東映
- ◆開催趣旨

フィンレイソンは、寝装品など室内を彩るデザインや生産を手掛ける、北欧フィンランド最古のテキスタイルブランドです。

1820年、ロシア統治下のフィンランドで英国スコットランド出身のジェームズ・フィンレイソンが、タンペレにおいて小さな工場を設立したのがフィンレイソンの始まりです。19世紀にはフィンランド最大

の紡績工場へと成長し、工場エリア内に学校、病院、図書館がつくられ、巨大なコミュニティを形成しました。さらに 1950 年代に社内デザインアトリエを設立し、フィンレイソンオリジナルのテキスタイルデザインを生み出していきます。

北欧の自然や文化から着想を得たデザインたちは今も人々に愛され続け、2020 年には創業 200 周年を迎えました。また、作家トーベ・ヤンソンによる世界的キャラクター「ムーミン」の絵柄の生地製作にも取り組んでいます。

本展では 1800 年代の見本帳や製品をはじめ、1900～2000 年代の代表的なデザインの生地や原画などの資料から、暮らしを彩ったテキスタイルブランドの歴史とデザインを紹介します。

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、詳細が変更される可能性があります。)

2. 展示概要

<What's Finlayson?>

フィンレイソンは、2020 年に創業 200 周年を迎えた、寝装品など室内を彩るデザインや生産を手掛ける北欧フィンランド最古のテキスタイルブランドです。象を並べた「エレファンティ」や幾何学的なパターンの「コロナ」などのデザインで知られ、北欧を中心に世界中で製品が愛されています。



<本展のみどころ>

○1820 年創業のテキスタイルブランド、フィンレイソンの歴史を紹介。

○北欧の自然や文化などから着想を得た色とりどりの個性あふれるデザインを展示。

○トーベ・ヤンソンによる世界的キャラクター「ムーミン」があしらわれたデザインも展示。

本展ではフィンレイソンの歴史とデザインを3つのテーマでひも解きます。

(1)歴史 HISTORY

(2)デザイナーたちの図案 DESIGNERS

(3)未来につなぐ FUTUREWARD

(1)歴史 HISTORY

1 章では当時の資料から、200 年にわたるフィンレイソンの歴史をご紹介します。

●1820 年 英国スコットランド出身のジェームズ・フィンレイソンが、フィンランドの都市タンペレで小さな工場を創業します。

●1860 年～ フィンレイソンはタンペレの人口の 3 分の 1 もの人を雇い、フィンランド初となる女性雇用の場を提供するなど、地域社会にも貢献しました。

●1930 年代～ PMK というフィンランド綿工場の販売会社が設立され、テキスタ



ジェームズ・フィンレイソン

イル産業に参入します。

その後PMKの広告キャンペーンは雑誌、店のショーウィンドウなどさまざまなところで見られました。

- 1951年～ 1951年には社内にデザインスタジオを設立し、最初のデザイナーを登用します。生活を彩るオリジナルデザインの幕開けです。



フィンレイソン通貨 (1855~1861年) / タンペレ歴史博物館所蔵

フィンレイソンのタンペレ工場は、クリミア戦争による通貨不足から独自の通貨を発行して給料を支払いました。

「フィンレイソン通貨」はルーブルやコペイカと同等に扱われ、タンペレ市内のすべての店舗で使えました。



糸見本入れ (1912年) / タンペレ歴史博物館所蔵

綿繊維や各種木綿の糸の色見本が収納されています。タンペレの工場では様々な色の糸を製造していました。

(2)デザイナーたちの図案 DESIGNERS

2章ではフィンレイソンのテキスタイルデザインの魅力を、原画や実際の製品から紹介します。1951年の社内デザインアトリエ設置以来、アイニ・ヴァーリをはじめとする社内デザイナーを登用。カラフルな草花のモチーフや、大胆なグラフィカルパターンなど、自然との共生に満ちたフィンランドデザインの軸ともなる作品が次々と生み出されました。

日本での公開は本巡回展が初となる、おなじみのデザインの原画や、スケッチは必見です。



ライナ・コスケラ作「エレファンティ(象)」スケッチ
(1969年) / ライナ・コスケラ所蔵



ライナ・コスケラ作「エレファンティ(象)」寝具用生地
(1969年) / タンペレ歴史博物館所蔵



MOOMIN

フィンレイソンは作者トーベ・ヤンソンから直接、ムーミンの柄の生地を制作する許諾を得た唯一の企業です。

リーサ・コタ作 原画 (1988) / フォルツサ博物館所蔵
©MoominCharacters™

(3)未来につなぐ FUTUREWARD



「将来 400 周年を祝えることを目指し」——。クリエイティブ・ディレクターのユツカ・クルツティラはフィンレイソンの使命を語ります。伝統のデザインを生かしながらも、時代に合わせて素材や色、配置を変えながらプロダクトデザインの生産を続け、トップリーダーとしてサステナビリティ(持続可能性)やダイバーシティ(多様性)などの社会問題にも取り組むフィンレイソン。その未来へ向けた活動をご紹介します。

3. 関連行事について

- ・各行事の参加者には、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、手指消毒等にご協力いただきます。
- ・社会の情勢に伴い、行事が変更となる可能性があります。

【記念講演会】「Moi(モイ)! フィンレイソン」

日 時 : 4月16日(土) 13:30~15:00

対 象 : 一般

定 員 : 50名(事前申込制でしたが、定員に余裕があるため、4月15日(金)まで先着順で追加申込を受付ます。)

場 所 : 1階講座室 参加費 : 無料

講 師 : 今泉 幸子さん(アンドフィーカ代表取締役)

内 容 : フィンレイソンの歴史やデザインに見る、フィンランドの社会背景や人々の暮らしについてお話しします。

【ベビーカーDAY】

日 時 : 4月17日(日)、5月15日(日) 9:30~12:00

対 象 : 赤ちゃん~幼児と保護者 場 所 : 4階特別展示室 ほか

参加費 : 無料(展覧会への入場は別途当日の観覧券が必要です)

内 容 : 子育て世代大歓迎!この時間は声を出しても泣いても大丈夫。お子さんと一緒に、展覧会をご覧ください。もちろん一般のお客さんも大歓迎です。館内が少しにぎやかな日になりますが、ご了承ください。※館内に授乳室・救護室の用意があります。

※追加申込方法

電話、ファクス、Eメールで、行事名・名前(ふりがな)・住所・電話番号・ファクス番号・学年(年齢)をご記入のうえ下記へお送りください。自宅以外のファクスから送信の方は、記入内容に「連絡は電話のみ」を追加してください。4月15日(金)まで受付ますが、定員に達し次第受付を終了します。

電話番号:059-355-2700 ファクス番号:059-355-2704

Eメール:hakubutsukan@city.yokkaichi.mie.jp(件名に「(催し名)申込」と記入してください)

担当 / 企画普及係 齋田明里
四日市市安島一丁目3番16号
059-355-2702